# NIE実践報告

１．タイトル：日本の新聞記事を使って「日本発の平和への思い」を英語で書こう

２．学校名

大分県立大分豊府中学校

３．実践者名（代表者名）

高畑　和哉

４．学年

第３学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

英語

６．単元（本時の学習課題）名

Lesson 4 Sadako and the Thousand Paper Cranes の発展学習

７．目標（狙い）

新聞記事の中から戦争に関するものを探し、記事内容を簡潔に自分でまとめ、さらに自分の感想を加えて英文を書く。

８．評価の視点

（１）必要な語彙を調べ、新聞記事の概要と自分の思いを英語で書くことができる
（２）他の生徒が書いた英文を読んで、その要点を理解できる。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

（１）教科書L4①～③の新出文型・単語の理解（3時間）　（２）教科書L4①～③の内容理解（3時間）
（３）発展的学習：英文作成、グループ内発表、クラス発表（3時間）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

（１）導入：　ある新聞記事をリスニング教材として生徒に聞かせる。この記事は「日本人の原爆に対する気持ちをアメリカの人たちに伝えたい」という思いをかき立てる材料となると考える。記事内容は、高校時代をアメリカで過ごした生徒が、現地の生徒から「日本にもう一度原爆を落とせば日本はアメリカの言うことをきく」といった発言をされて、悔しい思いをしながら一言も言えなかったことを回想した記事）
（２）展開：　ワークシートを利用した「記事内容の絞り込み」と「英語表現」の練習を行う。現在にも続く原爆の影響による死者数を扱った記事を教材とし、新出構文を自己表現に組み込む練習をした上で、それぞれの選んだ記事を使った表現にする。
（３）まとめ：　書いた英文をグループ内で回して読み合い、コメントを書く。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

表現したい内容に、英語表現力が追いつかない場合もあるが、辞書を使ったり教え合いながら、多くの生徒が英文を完成させた。また、お互いの英文を読んで、それぞれの思いを感じることができた。

12．成果と課題

（１）「日本にもう一度原爆を落とせばいい」という発言に対して何も言えなかった自分が悔しい、という回想の新聞記事を導入に使ったことや、朝日新聞出版のＤＶＤを見せていたことが、生徒に「何か伝えたい思い」を生徒の中に生み出すことにつながった。
（２）「伝えたいこと」を伝えるだけの英語力がまだないときに、それぞれの生徒に自由に選ばせた記事の要約やそれに対する英文を書かせた場合、生徒の作文をどう修正加筆するかなど、その効果的な指導方法についてさらに研究することが必要である。